

西濃地区公立小中学校  
事務職員部会テーマ  
**子どもの豊かな育ちを実現する学校事務**

具現のために

- ・長期研修計画の実践を通して、学校事務の資質・能力を高め、学校の教育目標具現に努める。
- ・学校事務体制の充実のため共同実施を推進する。
- ・研究内容の交流を進め、成果を共有し、郡市の研究活動を活性化させる。

安八郡 教育研究会 テーマ  
**生きる力を身に付け、未来を切り拓くたくましい児童生徒の育成**

- 基礎力・基本的な知識・技能を習得するとともに、言語活動を一層充実し、思考力・判断力・表現力をはぐむ「授業づくりの推進」
- 自己肯定感を高め、規範意識の定着を図る「心の教育の充実」
- 教職員が自ら資質・能力を高める「自己を磨く研修の充実」

岐阜県小中学校教育研究会  
事務職員部会テーマ  
**子どもの豊かな育ちを実現する学校事務**

ー 学校経営をサポートする共同実施の推進 ー

【 研究の重点 】

- 1 子どもたちが安全で安心して学び生活できる環境を整えるとともに、信頼される学校づくりに努める。
- 2 積極的な職務の遂行と研究活動を通して、資質の向上に努める。
- 3 学校事務体制を整備し、組織的な学校事務に努める。

安八郡 事務職員部会 テーマ  
**子どもの豊かな育ちを実現する学校事務**  
～ 共同実施の取り組みを通して事務の効率化を図る～

〈 平成30年度 研究推進テーマ 〉  
**『3本柱』の取り組みを通して子どもの豊かな育ちを実現する事務職員**

**事例交流シートの取り組み**

**共同実施の取り組み**

**『KAKEHASHI』の取り組み  
(コミュニケーション研修)**

【目的】  
それぞれの学校で対応している事案がある。どの学校でどのような事例があり、どのように対処したか、お互いに交流することによって、事務職員の経験の差に関わらず、円滑に事務を行うことができる。

24  
25  
26  
27  
28  
29  
年度

- ・以前はそれぞれの学校で起こった特殊な事案について、どのように対処したかを口頭で発表し、統一された書式の「事例交流シート」を作成し、事例をまとめるように変更した。同じ書式を使う事により、内容がよく分かるようになった。
- ・毎回の事務研で事例を各校から挙げる事により、豊富な内容の交流シートとなった。
- ・自分の経験していない事例に触れることによって各学校での事務処理に役立った。
- ・重複する内容で対処が異なった際には、再度内容を確認し正しい対処について理解できた。
- ・「給与」「旅費」「人事」「服務」「福利厚生」「その他」と分類して、内容を分かりやすくした。
- ・西濃事務ネットに掲載できるよう、分類し、形式を統一した。
- ・名称を「MUSASHI」とし、西濃事務ネットに掲載した。

成果と課題

- ・交流した知識を、形として残すことができた。
- ・交流シートの作成により、内容が明確になった。
- ・交流シートの内容ごとに、シートを分類すると、よりわかりやすく、手引きのようになる。
- ・初任者にも分かりやすいものとなった。

29  
年度

- ・基本的な事例から特殊な事例まで様々な事例を交流することが出来た
- ・西濃事務ネットに掲載するデータの分類仕訳を行った。

成果と課題

- ・多量の事例を知ることができ、日々の仕事に役立った
- ・多くの情報を共有でき、会員のスキルアップに繋がった。
- ・事務処理について理解を深めることが出来た。
- ・事例が少なくなってきた。

30  
年度

- ・事例交流シートを用い、特殊事例について交流し、理解を深める。
- ・一回一回の研究會の中で、時間を確保して交流する。
- ・郡内の貴重な事例としてデータを整理蓄積する。
- ・西濃ジムネット 事務手引きの確認・更新の総括を行う

【目的】  
学校経営全般(下記6点の項目)にかかわる支援を行うために「学校運営支援室(共同実施)」を組織し、円滑な支援を目指す。

- ① 学校経営への参画 学校運営の支援
- ② 教員の児童生徒と向き合う時間の確保 教育活動の支援
- ③ 町教委との連携促進
- ④ 責任ある事務処理体制の確立
- ⑤ 学校事務の平準化及び改善
- ⑥ 人材育成

25  
26  
年度

- ・神戸町では、27年度より共同実施を開始するための道筋をつける動きをとった。

27  
年度

- ・共同実施を始めるにあたっての神戸町の動き(経緯・状況等)について研修した。

28  
29  
年度

- ・共同実施について他校視察(八津津町・関市)を行い共同実施の経緯・状況について研修した。輪之内町での共同実施組織の策定・安八町での共同実施活動へと繋がった。

成果と課題

- ・共同実施について理解を深め、交流が出来た
- ・今後も郡内で情報交流に努める。

30  
年度

- ・神戸町・輪之内町・安八町の共同実施を町毎に全体の場での交流や取組むと良い内容を考察し、各町での共同実施の活動に繋げるよう考察する
- ・他地区と交流研修する

【目的】  
学校間、学校内でのチームワークを高めるためには、相互のコミュニケーションが不可欠。それはまた地域とのつながりのために必要な要素である。

- ・学校を中心とした、保護者・地域・関係機関との協働体制の構築を図る際、事務職員の役割は大きい。
- ・調整役としての役割には、関係機関とコミュニケーションを円滑に図り対応することが必要。
- ・学校全体のスキルアップを図る。

24  
25  
26  
27  
28  
年度

- ・119番通報訓練(救急の通報・火災の通報)について大垣消防組合のHPの通報例を参考に、2人1組で電話対応の演習を実施し、通報時の注意事項を、全員で確認した。
- ・接遇マニュアルの作成(来客応対編・電話応対編)
- ・校内の職員間で利用できるマニュアル作り教職員に発信し、地域・保護者への対応の大切さを呼びかけた。
- ・接遇の基本を学校全体として取り組むよう事務職員から、現職研修などを活用し働きかけ、学校全体のレベルアップを図った。
- ・応用編として、クレーム対応や発達障害児対応、不審者対応などの研修を行った。

成果と課題

- ・郡内事務職員、共通理解が図れた。爪賀等の実務的な内容や福利厚生など知りたい情報を判りやすく発行することが出来た
- ・マニュアルの効果的な利用方法を考えたい。
- ・紙面に反映できるよう教員アンケート等をとる。

29  
年度

- ・旅費等の実務的な内容やコミュニケーション等のコラム欄を設け、充実した内容とすることが出来た。

30  
年度

- ・担当が過去のデータを勘案し、年間計画を立てた。
- ・タイムリーな情報であるよう心がけた。

成果と課題

- ・校内研修の一環として、「KAKEHASHI」に新たにコミュニケーションコラム欄を設けより多様な内容とすることが出来た。
- ・「KAKEHASHI」を、3回確実に発行できた。
- ・紙面の内容を今後も厳選し、よりタイムリーな内容の作成に努める。

30  
年度

- ・担当が年間計画を立てる。
- ・職員をひきつけるような見出しにする等、紙面構成についても工夫する。
- ・タイムリーな情報の他に、様々な内容でのコラム欄とし、今後も様々な情報を分かり易く紙面にすることで終礼等の際に、職員研修が行えるようにする。
- ・紙面に反映できるよう教員アンケート等のより紙面に活かしていく。

【目的】  
郡内の教職員向けにタイムリーな情報を発信する。

- ・日々の生活に役立つ情報を郡統一の「たより」として、郡内全ての教職員に提供する。
- ・A4サイズの2ページのもの。
- ・年3回発行。作成を分担して発行する。

24  
25  
26  
27  
28  
年度

- ・児童手当改正について
- ・退職後の年金について
- ・国民年金、遺族年金等、税金・旅費について
- ・自家用車使用時の注意
- ・福利厚生について
- ・共済組合・互助会の給付
- ・期末勤労手当について
- ・共済廃止事業の紹介
- ・確定申告について
- ・特別休暇の改正、子育て世帯臨時特例給付金、期末勤労
- ・結婚特集
- ・改定差額について
- ・確定申告について

成果と課題

- ・重複する内容の時があった。
- ・3ブロックで1回のみで、内容を探るのが難しくなっている。
- ・職員に読んでもらえるような話題を取り入れるとよい。

29  
年度

- ・担当が過去のデータを勘案し、年間計画を立てた。
- ・タイムリーな情報であるよう心がけた。

30  
年度

- ・担当が年間計画を立てる。
- ・職員をひきつけるような見出しにする等、紙面構成についても工夫する。
- ・タイムリーな情報の他に、様々な内容でのコラム欄とし、今後も様々な情報を分かり易く紙面にすることで終礼等の際に、職員研修が行えるようにする。
- ・紙面に反映できるよう教員アンケート等のより紙面に活かしていく。

**平成30年度 安八郡教育研究会  
(事務職員) 部会研究計画**

組 織	顧 問	部 長	書 記	部 員
氏 名	金森 透	平野 貴史	藤井貴美子	14名
研究主題 子どもの豊かな育ちを実現する学校事務 ～共同実施の取り組みを通して事務の効率化を図る～				
回	月・日・曜日	研 究 内 容	会 場	講 師
1	5月1日 (火)	・研究テーマ研修計画説明・役割分担の確認 ・校長先生のお話 ・各町の今年度の共同実施活動の予定① 「KAKEHASHI」の発行コラム欄等検討	安八町立 登龍中学校	校長先生
2	6月6日 (水)	・事例交流②・各町の共同実施状況を全体交流② ・共同実施(学校間連携)のその他の交流と「取り組むとよい内容事例」検討① ・「KAKEHASHI」の内容検討①	神戸町役場 南庁舎	校長先生
3	7月26日 (木)	・他地区への視察・・(日程変更もあり) ・共同実施(学校間連携)の交流	未定・・視察先	校長先生
4	8月24日 (金)	・事例交流③・各町の共同実施の状況を全体交流③ ・共同実施(学校間連携)のその他の交流と「取り組むとよい内容事例」検討② ・「KAKEHASHI」の内容検討②	輪之内町 図書館	校長先生
5	10月12日 (金)	・事例交流④・各町の共同実施の状況を全体交流④ ・共同実施(学校間連携)のその他の交流と「取り組むとよい内容事例」検討③ ・「KAKEHASHI」の内容検討③	神戸町役場 南庁舎	校長先生
6	12月6日 (木)	・事例交流⑤・各町の共同実施の状況を全体交流⑤ ・共同実施(学校間連携)のその他の交流と「取り組むとよい内容事例」検討④ ・「KAKEHASHI」の内容検討④	輪之内町 図書館	校長先生
7	2月7日 (木)	・顧問校長等のご講話 ・今年度の反省と次年度の計画	安八町 中央公民館 2F 小会議室	校長先生

郡教育研究大会 1月23日(安八町中央公民館 大ホール) 県理事会代議員会 5月22日  
 ※西濃地区事務研 5月23日、11月20日(西濃総合庁舎)、県夏季研 8月22日(各務原市)  
 事務の日セミナー 10月3日(羽島市) 東海事務研(稲沢市) 11月8、9日  
 全国大会(千葉市) 8月1～3日